

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	管理者と職員間で「支援の4つの柱」の内容に沿った実践の確認や、振り返りの機会が少ないので検討が必要である。	職員一人一人が「支援の4つの柱」の内容に沿ったケアを実践し、定期的に管理者と振り返りを行うことで、事業所は事業所理念に沿ったケアサービスを提供することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼や会議の際に「支援の4つの柱」の内容について意識を共有し、職員各々が実践に反映させる。 定期的実践の振り返りと自己評価の機会を設け、管理者と共に振り返りを行う。 	6ヶ月
2	6	玄関は電子錠が使用されているため、ご利用者様本人の思いに沿った対応について検討する必要がある。	ご利用者様が外出を希望している背景や理由、対応について職員間で話し合い、利用者者に寄り添った適切なケアを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 日々のコミュニケーションの中でご利用者様の希望を汲み取り、ユニット会議で背景や対応について職員間で共有する。 表出されない希望は、外出の際のご利用者様の反応や、ご家族からの意見を参考にしながら寄り添ったケアを目指す。 	6ヶ月
3	7	ケアに対する悩みを持つ職員との個別面談が実施されていないため、不適切なケアに繋がらない仕組みの構築を期待したい。	管理者は積極的にコミュニケーションをとり、定期的に個別面談を実施することで不適切なケアや虐待を防止する。また、職員間でも意見や相談がしやすい環境を維持し、不適切なケアや虐待の防止について徹底する意識を共有する。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に管理者職員間で個別面談を行う。 会議、ミーティングで「不適切ケア」について意見交換を行い虐待防止を徹底する。 職員間でコミュニケーションを積極的にいき、相談しやすい関係を維持する。 	6ヶ月
4	11	運営に関する職員の意見を反映させるため、管理者は個別に職員と面談をする機会の必要性を感じているが、実施できていない。	管理者は定期的に個々の職員と面談をし、意見や要望をすくい上げることで運営に反映させることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に個別面談を行い意見を汲み取る。 業務の見直しや効率化を図るためのアンケートを行い、実践に繋げる。 申し送りや会議の場で意見交換を行う。 	6ヶ月
5	26	介護計画の作成プロセスにおいてご本人やご家族の意向を確認しているが、その後のプロセスについても、ご本人やご家族がより一層関与できる仕組みを構築してほしい。	介護計画のプロセス全般において、ご本人とご家族がより一層関与できる体制を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> 介護計画についてご本人ご家族と相談しながら適宜見直しを行っていく。 職員間でも情報を共有し、ご本人やご家族の意向に沿ったケアを行う。 	6ヶ月

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	34	救急講習で学んだ対応方法やマニュアルに従った対応ができなかった事例があるので、定期的に研修を実施し、手順等を見直す必要がある。	職員全員が急変や事故発生時の対応を、速やかに適切に対応できる体制の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・急変や事故発生時の研修を定期的に行う。 ・マニュアルを各ユニットの目立つ場所に掲示し、会議等で確認や見直しを行う。 ・救急搬送時の書類のファイルの整理を行う。 	6ヶ月
7	35	災害の状況に応じて法人内の別の施設へ避難が定められているが、マニュアルを整備し避難訓練を実施することが必要である。また備蓄の管理方法についても検討してほしい。	災害の状況に応じた避難ルートと避難方法を検証し、マニュアルを作成する。また定期的に避難訓練を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難方法について会議で検討し、マニュアルを作成する。またマニュアルに沿った避難訓練を行う。 ・地域の防災訓練に参加し地域の方々と協力体制を構築する。 ・備蓄の管理方法を検討し、また職員全員が取り出し使用できる体制をとる。 	6ヶ月